

# 成長する欧州建機市場 フランスは人とモノの中心となるだろうか

「経験豊富な人材が確保でき、欧州圏外も含めたニーズもキャッチできると期待しています。」

日立建機株式会社 執行役員専務 茂理 満男



1970年設立。資本金815億円。建設機械メーカーとしては油圧ショベルを軸に国内2位。現在は「世界の建設機械総合メーカーとして不動の“ビッグ3”の市場地位の確保」を目標に、米欧アジアで製販グローバル化を推進。2006年、フランス国内に販売子会社を新設。

## フランス進出の経緯を教えてください。

欧州向けの生産拠点として、2002年7月、ジナス市にあった古河機械金属(株)のホイールローダ事業を買収したのがきっかけです。ホイールローダは欧州建機市場においては約20%を占める主要製品の一つであり、ホイールローダの競争力をさらに高めて、欧州の事業基盤を強固にするため、現地生産と供給を開始しました。また、2006年10月にはフランスでの販売網の拡大、顧客へのサービス充実のため、パリに販売・サービス会社を設立しました。

ジナス市の生産拠点は、2002年7月の買収時は合併会社としましたが、2004年10月に100%子会社としました。2008年4月には連結子会社のTCM社に譲渡し、ホイールローダ事業の集約と効率化に取り組んでいます。これにより欧州市場での需要拡大と資材費高騰にも対応可能な、原価低減に基づく供給能力拡大が今後期待できると考えています。

今後フランスに期待することを教えてください。

フランスの建機市場は、欧州の他国同様に順調な伸びを示しており、今後もEU圏の拡大や好景気の継続を背景に、堅調な推移を見込んでいます。また、フランスにはグローバルに活躍するゼネコンや大手のセメント会社、砕石会社が多数あるため、欧州圏内だけでなく、欧州圏外からの需要も取り込める期待があります。

さらに建機業界に従事しているフランス人、特に中高年世代は経験が非常に豊かで、勤勉で責任感も強く、質が非常に高いと感じています。

立地面でも、多くの建設機械メーカー、建設機械関連企業が工場を構えているため、生産における地理的メリットを有効活用できると考えています。

## 日立建機(株)のフランスにおける実績

- 社名：TCM France S.A.S.
- 所在地：35 Rue Salengro, BP211 69742 Genas Cedex, France
- 設立：2002年
- 資本金：6百万ユーロ(2008年3月)
- 従業員：56名
- 事業内容：ホイールローダの製造

- 社名：Hitachi Construction Machinery Sales and Service France S.A.S.
- 所在地：13 Rue Camille Desmoulins, 92441 Issy-les-Moulineaux Cedex, France
- 創業：2006年
- 資本金：2百万ユーロ(2008年3月)
- 従業員：10名
- 事業内容：建設機械の販売、サービス

フランスへのビジネス投資は、いま絶好のタイミングです。  
お役に立つ最新情報をホームページで発見してください。

[www.investinfrance.org/Japan/](http://www.investinfrance.org/Japan/)

在日フランス大使館 対仏投資庁 日本事務所  
〒106-0041 東京都港区麻布台2-4-5 メソニック39 MTビル 12F  
Tel: 03-5733-8200 Fax: 03-5733-8201